

令和5年度 学校評価表

宮崎県立宮崎農業高等学校

部	今年度の取組	自己評価	学校関係者評価	講評
学校全体	1 生徒一人一人の可能性を高める教育の推進	B	A	○G7農相会合、家庭クラブ全国大会、本校130周年記念事業等、全てを成功させ、高いレベルの教育活動を行っている。
	2 豊かな人間性を育み、個性を大切にした教育の推進	A		
	3 生徒や保護者、地域の期待に応える教育の推進	A		
	4 働き方改革と教育内容の充実を図る教育の推進	B		
	5 教育環境の充実と安全な学校教育の推進	A		
教務部	1 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業実践	B	A	○目標達成に向け、様々な取組を行っているところは評価できる。
	2 授業等におけるICT機器の活用と検証	B		
	3 観点別評価の導入に向けた研修等の実施	C		
広報情報部	1 分かりやすい効果的な広報活動	B	A	○ICT活用に向けての取組は高く評価できる。
	2 校務支援システムやICT活用の支援	B		
教育相談部	1 不本意な進路変更ゼロを目指す	B	A	○生徒一人一人に対する手厚い支援について高く評価できる。
	2 個別支援に係る情報収集と研修の活用	A		
	3 全職員で共通理解のもとトラブルゼロの指導・支援を徹底する	B		
生徒指導部	1 基本的な生活習慣の確立	B	A	○周辺地域から見る生徒の活動状況は高い評価となっている。
	2 規範意識の高揚	B		
	3 生徒会活動や部活動の活性化	B		
保健部	1 感染症及び健康に対する意識の向上	B	A	○多くの課題解決が学校に求められる中、良く取り組んでいる。
	2 健康診断に基づく健康の保持増進	B		
	3 生徒による主体的な健康安全活動の推進	B		

【自己評価】 A：目標を十分達成できた B：目標に向けて取り組んだ C：目標達成できなかった

【学校関係者評価】 A：大変良い B：ふつう C：努力が必要

宮崎県立宮崎農業高等学校

部	今年度の取組	自己 評価	学校 関係者 評価	講 評
進路指導部	1 生徒の多様なニーズに対応した進路実現	A	A	○ほぼ全ての生徒が進路目標を達成できており高く評価できる。
	2 進路情報の共有化・データベース化	B		
	3 克己心の育成	B		
農務部	1 新規導入施設・設備を有効に活用した農業教育の実践	B	A	○地域の農業人材育成という使命を果たすため、様々な取組を行っていることを高く評価する。 ○新しい時代を見据えた教育内容について、研修等を行いながら活動していることは評価できる。
	2 地域や関係機関との連携による人材育成	B		
生物工学科	1 主体的な行動と進路実現を図る生徒の育成	B		
	2 地域の期待に応える教育の推進	B		
	3 時代の変化や社会のニーズを踏まえた学科の特色化	B		
生産流通科	1 生徒の主体性と課題解決力の育成	B		
	2 新学習指導要領の趣旨を踏まえた指導方法の確立	C		
	3 地域の期待に応える教育の推進	B		
食品工学科	1 個に応じた丁寧な進路指導と進路実現	A		
	2 社会に通用する生徒の育成	B		
	3 生徒主体の授業実践と専門力の向上	B		
環境工学科	1 農業土木技術者の育成	B		
	2 基礎学力の向上	C		
	3 特色ある学科づくり	B		
生活文化科	1 家庭に関する専門的知識・技術を持った生徒の育成	A	A	○インターンシップ等による地域連携の取組は高く評価できる。
	2 課題解決能力のある生徒の育成	A		
	3 社会が求める実践力のある生徒の育成	B		

【自己評価】 A：目標を十分達成できた B：目標に向けて取り組んだ C：目標達成できなかった

【学校関係者評価】 A：大変良い B：ふつう C：努力が必要